



## 「言葉の力」を中核とした学校づくり ⑬

### 「地域との連携」を深める

◆ 「連携」という用語は安易に使われがちですが、私は真の連携は、双方にとってメリットがなければ成り立たないものと捉えています。そのため、学校と地域の企業、関係機関等が互いの願いを理解し合い、当該の教育活動のねらいを無理なく達成できるよう、相互に情報の収集や発信を行うことが大切であると考えます。

◆ 地域との信頼関係を深める主な観点は、次の四つです。

第一は、意識改革。生きる力の育成は、学校だけでできるものではありません。地域との連携が不可欠であることを全ての教師が理解する必要があります。

第二は、組織運営。これまで多くの学校では、校務分掌ごとに地域との関わりをもってきました。そうした個別の対応を、既存の企画会や運営委員会等の組織が吸収し、中・長期的な展望をもった取組を行うことです。

第三は、情報交流のシステムづくり。学校だよりや学年・学級通信、学校のホームページ等により、学校からの情報を発信するとともに、地域からの情報を受け止め、活用していきます。

第四は、コミュニティ・スクールがもつ機能の活用。そのため、連携を要する取組の学校経営計画への分かりやすい位置付けと、真の連携にするための十分な協議が必要です。



### 人の成長

実業家 渋沢 栄一

人は生まれたままで満足を得られるものではない。学ぶ、求むる、進むという順序で、その機能を発揮し、漸（ようやく）をもって向上進展し得られるのである。

出典：「渋沢栄一 一日一言 人間力を高める言葉」（致知出版社）

※ 「学ぶ、求める、進む」のサイクルを循環させたいと考えます。